

# 神中しーぶん

平成27年  
1月6日

神原中  
不定期43号

## 一隅を照らす!!

～二学期前半終了 校長講話より～

去る十二月二十五日(木)二学期前半を締める全体集会を行いました。校内における次の表彰

### ①給食コンクール

学年一位：一年二組  
二年三組  
三年一組

### ②清掃強化週間

学年一位：一年一組  
二年二組  
三年三組

### ③神原ノート

学年一位：一年三組  
二年三組  
三年一組

等のあと、校長先生からの講話がありました。その講話の中から一部を紹介いたします。まず、生徒の整列の状

態が素晴らしいとこのことに続き、「光陰矢のごとし」ということで、今年もあつわづかを残すだけとの話しです。その後、四月に行われた全国学力・学習状況調査における三年生、十二月に行われた沖縄県学力到達度調査における二年生、一年生の頑張りについても述べています。いずれの調査も県の平均以上の結果を残しています。

講話の後半には、「一隅を照らす」という事を紹介しています。片隅を照らす。これは、一人一人が一本のローソクとなり社会の隅々を照らすという事です。その中が築けるという事です。一本のローソクというのは、自立した一人の人という事です。自分の与えられた場所で、自らを鍛え、人に甘えることなく、自分で考え判断し、行動する人。常に思いやりを持って相手の事を考えて行動する人。そういう人は、社会の隅々まで照らす事

ができる人で、一本のローソクになり得るのです。「一隅を照らす」自分自身を作って欲しいと思います。ノーベル賞を受賞した十七歳のマララさんのように。学級の生徒が、担任の誕生日をみんな

で祝ってくれたことも紹介しています。

## 後半スタート! (校長講話より)

去る一月五日(月)年明け早々に二学期後半が始まりました。全体朝会での生徒達は、休み明けにもかかわらず静かに集中して校長先生の講話に耳を傾けていました。次はその講話の一部です。

沖繩の正月は「いい正月でーびる。」とあいさつを交わすことから始まりました。正月の朝一番に若水をくみ、それでお茶を沸かして飲んだり、顔を洗ったりします。男の子がまず、家々を回って「いい正月でーびる」とあいさつをしていく習慣もありました。今年の干支は未、未来の未と書いてひつじ年です。ひつじは十二支の中では、八番目にくる動物です。未来の「未」のひつじは象形文字では枝葉の茂った様を表し、豊作への願いが込められているそうです。

謹んで新春の  
お慶びを申し上げます  
旧年中は色々ご協力いただき、  
ありがとうございました  
本年もよろしくお願いたします



また、動物の羊の漢字は祥、すなわち縁起の良いことにつながり、群れをなすところから家族の安泰を意味し、いつまでも平和に暮らすことを意味しているそうです。神原中と生徒、先生方一人一人に良いことが沢山訪れ、平和でたと喜ぶ年になることを願います。世界中では戦争と戦争の噂が絶え無い地域が多くありますが、世界中の人々にとつても良い年であることを祈りたいと思います。

また、「一年の計は元旦にあり。」とも言います。皆さんはどんな目標を立てて今年一年を過ごすことにしたでしょうか。三年生の皆さんは当然高校合格と卒業でしょう。全員合格、全員同時卒業ができるように願っています。

二年・一年生は、部活、勉強、互いに支え合えるような友だちづくりに向けて頑張ってもらいたいと思います。自分の能力を少しでも多く発揮し、友達を思いやり、大事にし、全員進級に向かって進んでほしいと思います。また、何か新しいことに挑戦することも良いと思います。今年も神原中学校の生徒一人一人が、自分の目標に向かって大きく飛躍し、成長し、それによって神原中学校がさらに新しい伝統と歴史が築かれるようにみなさんの活躍を大いに期待しています。

### \*\*\*琉歌の紹介\*\*\* 新玉の年に 炭と昆布飾てい 心から姿 若くなゆさ

<歌意>  
新しき年の初めに、縁起の  
いい炭と昆布も若く、心身ともに若く、心から姿若くなゆさ

<解説>  
炭は長期の間でも変化し難い象徴で、昆布は長い年月でも新しい心を通じ、心から姿若くなゆさ

